

# ごん吉くんレポート

～南吉よもやま話～

第46回

## ストップモーション アニメーション ごん

今年9月、約2年半の歳月をかけて東京で制作されていたストップモーションアニメーション「ごん／GON, THE LITTLE FOX」が完成しました。「ごん狐」を原作に、人形を少しずつ動かしてコマ撮りするストップモーションアニメの技法で作られた映像作品です。主にプラネタリアムで撮影する番組として配給され、10月から全国に先駆けて半田空の科学館で撮影されています。

監督は、世界50か所以上の映画祭で作品が上映され、多くの受賞歴を持つ八代健志氏。今回は、この作品の魅力についてご紹介します。

まずは映像の中で生きているかのように動き回る人形。実際に手に持ってみると意外に重く感じます。それは人間の体と同じ動きができるよう、内部に金属の骨格と関節が仕込まれているからです。頭部は八代監督自身が木彫りで作っています。通常、人形を使ったアニメの場合、頭部は修復がしやすい粘土や樹脂で

作り、複数体で撮影することもあります。しかし、ひとつひとつ木目が異なる木彫りは替えが効きません。それでも木彫りにこだわるのは、つるりと美しい樹脂製よりも、素材が主張することに魅力を感じるからだそうです。

美術セットにもこだわりのあります。例えば兵十が川で漁をする場面。川岸に生えている葦はスキの穂を乾燥させたもので、監督が住む長野県軽井沢で集められました。川のセットは、実際に水をはりポンプで循環させていて、川底の小石も本物です。水流を再現しての撮影は、手間がかかるうえ、人形を水に浸けるリスクもあって、ストップ

モーションアニメでは異例です。しかし、水面のきらめきや衣服が濡れている質感の表現は、CGには難しい実写ならではのものです。

手間はかかろうとも本物にこだわりのアナログに徹するのが八代流。そうして生まれた映像美だけでなく、原作を大切にしながら大胆な脚色と演出がされているのも見所で

す。

\*\*\*\*\*

南吉記念館では、「ごん」のメイキング映像、絵コンテ、人形や美術セットなどを展示する企画展を来年1月13日(祝)まで開催中。また11月30日(土)19時から空の科学館プラネタリアムホールで「ごん」の上映付きの朗読コンサートを行います。チケット(大人1000円・小中学生800円)は南吉記念館や空の科学館などで販売中。上映や行事など詳しくは、空の科学館 ☎07175、新美南吉記念館 ☎064888へ。



新美南吉記念館 遠山光嗣

(c) TAIYO KIKAKU Co.,Ltd / EXPJ, Ltd

### みなさんの(声)を聞かせてください アンケート

- Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。
- Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。
- Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

#### 回答方法

住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、ご送付ください。

#### あて先

〒475-8666  
東洋町2-1 企画課  
Eメール  
kouhou@city.handa.lg.jp



ラ  
「ご覧になりましたでしょうか。日本代表の快進撃は、日本中に感動をもたらしました。大会前世界ランキング1位だったアイルランド、過去のワールドカップで1度も勝ったことのないスコットランドを破り、予選4試合全勝でアジアの国として史上初めて決勝トーナメントに進みました。  
私も、強豪国にひるまず真っ向からタックルする日本代表の姿に感動しました。日々の仕事に懸命にタックルする勇気をもりました。  
(浅野)

#### 編集後記

